

平成 28 年度年報発行にあたって

公益財団法人泉屋博古館の平成 28 年度年報をお届けいたします。事業報告書に加え、今年度より当館の活動をより身近に理解していただこうと、カラー版の年報を作成することといたしました。

泉屋博古館は、住友家が収集した世界的に高名な中国青銅器コレクションと京都鹿ヶ谷の土地、建物の寄贈を受け、昭和 35 年（1960 年）に財団法人として設立されました。「泉屋博古館」の名称は、江戸時代の住友の屋号「泉屋」と中国宋の時代に皇帝の命により編纂された青銅器図録「博古図」から採られています。

その後、住友家から数次にわたり中国絵画、日本絵画、書跡、茶道具、洋画などの美術品と東京六本木の土地および基本金の寄贈を受け、平成 14 年（2002 年）には東京六本木に分館を開館しました。住友各社からは基本金の寄贈に加え、グループの文化貢献の一環として毎年の協賛金による支援を行っていただいております。当館は事業収入と住友グループほかからの寄付金収入により運営されています。

現在、当館は国宝 2 点、重要文化財 19 点をはじめとする約 3,500 点の美術品を所蔵し、京都、東京の 2 館で保存、調査研究、公開の各事業を行っています。京都東山の麓、四季折々の自然と史跡に恵まれた鹿ヶ谷に檜林庭園を擁する本館は、青銅器の常設展示を行うとともに、日本画や工芸を主体とする企画展示を行い、一方、東京六本木のビジネス・エリアにありながら住友家旧麻布別邸の緑豊かな庭園を臨む分館では、西洋画や茶道具を中心とする企画展示を行うとともに、本館所蔵美術品や各種の企画・特別展を積極的に行い、地域との共生にも意を注いでいます。

こうした展示活動を支えるため、当館は所蔵品研究に注力しています。当館は昭和 59 年（1984 年）以来、泉屋博古館紀要を毎年発行しており、本年は第 32 巻目となりました。今巻は、特に当館の紀要を創刊され永年にわたり研究活動を指導された故樋口隆康名誉館長の追悼号として刊行することといたしました。

このような当館の事業は、ひとえに来館者並びに賛助会社の皆様の厚いご支援により成り立っております。皆様には心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援、またご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人泉屋博古館

理事長 宮原賢次

公開事業の概要

本館（京都）

展覧会名	期間	入館者数			
		有料	優待	計	1日平均
はんなり春のしつらえ －花の絵画と茶道具とともに	4/2－5/15 (38日間)	1,945	1,609	3,554	94
上島鳳山と大阪の画家たち －大阪の美人画は濃い！	5/28－7/24 (50日間)	2,722	2,305	5,027	101
はなやか秋のしつらえ －明治・大正の絵画と工芸	9/3－10/23 (44日間)	1,965	2,064	4,029	92
高麗仏画 －香りたつ装飾美	11/3－12/4 (28日間)	4,349	5,393	9,742	348
常設展 中国青銅器の時代 (企画展開催期間外入館者)	上記企画展と 同じ	0	17	17	－
平成28年度入館者計	160日間	49% 10,981	51% 11,388	対前年比＋778 22,369	140

分館（東京）

展覧会名	期間	入館者数			
		有料	優待	計	1日平均
バロン住友春翠 －邸宅美術館の夢	2/27－5/8 (62日間)	2,991	2,345	5,336	86
数寄者住友春翠 －和の美を愉しむ	6/4－8/5 (54日間)	4,308	2,538	6,846	127
明治有田超絶の美 －万国博覧会の時代	9/24－12/4 (62日間)	3,014	5,328	8,342	135
平成28年度入館者計	178日間	62% 10,313	50% 10,211	対前年比－4,931 20,524	115

	有料	優待	計
入館者本分館合計	21,294	21,599	対前年比－4,153 42,893

平成 28 年度公開事業 本館（京都）

中国 青銅器の時代

会期：企画展覧会と同時開催

住友コレクションの中核をなす中国商周時代の祭祀用青銅器について、従来の展示方法を一新した。

4つの展示室それぞれにテーマを設定し、名品、概説、文様、日本を含むそれ以降の時代への展開に分けて、青銅器の魅力を紹介した。



展示室エントランス

第1展示室 青銅器名品選 — いにしへの造形美 —

当館収蔵青銅器の中から選りすぐりの名品を展示する。商周青銅器の大きな特徴である卓抜した造形の美しさを伝える作品を紹介する。



第1展示室

第2展示室 青銅器の種類 — 豪華な道具たち —

様々な祀りや儀式で用いられた多種多様な器の用途を紹介する展示室。神に捧げる酒や食物の器、陰陽を調和する楽器、手を清める器などを展示する。



第2展示室

第3展示室 青銅器の文様 — 神秘のデザイン —

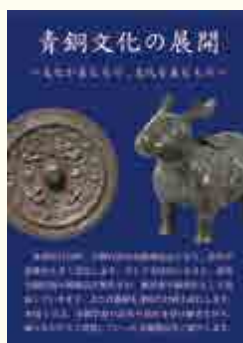
青銅器にあらわされた文様に焦点を当てた展示室。後の時代に受け継がれ、中華を代表する文様モチーフとなった龍や鳳凰などを紹介する。



第3展示室

第4展示室 青銅文化の展開 — 文化が産むもの、文化を産むもの —

漢時代から清時代に至る金属工芸を陳列。商周青銅祭器を模倣しながら発達した銅花器や銅香炉や銅鏡を紹介する。



第4展示室

関連催事

・ギャラリートーク：廣川守 4月16日(22名)、5月7日(20名)、6月11日(12名)、7月9日(7名)、9月24日(15名)、11月3日(8名)

・ワークショップ

10月8日(65名)、9日(43名)

「鋳物体験 — 古印をつくろう」

講師：新郷英弘氏、樋口陽介氏

(芦屋釜の里)

青銅器制作技法になぞらえた鋳造イベント。

幅広い世代が多数参加した。



鋳物体験ワークショップ

はんなり春のしつらえ ― 花の絵画と茶道具とともに

会期：4月2日－5月15日

新たに寄贈された作品展第一弾。茶道具や花にまつわる絵画により、京都の春を演出。茶席に一層の風情をもたらす新収の皆具や銅鑪などと館蔵の名品茶器を取り合わせた。



茶道具の展示



能装束の展示



蒔絵提重の展示

関連催事

- ・ギャラリートーク：外山潔 4月23日(23名)、5月14日(40名)
- ・特別鑑賞会 5月12日(26名)、13日(22名) 「美術と名庭のひととき」
「はんなり春のしつらえ」展解説と住友有芳園見学。
- ・限定点茶席
5月4日(67名)、5日(70名)
「住友家の茶道具で愉しむ立礼
― 銅鑪の音とともに」
協力：松風園
大正～昭和の茶道具を用いた立礼席の茶会。
道具の由来や春翠の交友関係を館員が紹介。



限定点茶席

上島鳳山と大阪の画家たち — 大阪の美人画は濃い！

会期：5月28日－7月24日

明治から大正にかけ、大阪で活躍した日本画家たちの回顧展。近世以降の大阪独特の表現を受け継いだ「濃い」美人画を紹介した。



展示風景



展覧会開催に併せて、図録『上島鳳山と大阪の画家たち』（当館分 350 部）を笠岡市立竹喬美術館と共同出版した。
（会期中に完売）

図録『上島鳳山と大阪の画家たち』



関連催事

・ギャラリートーク：

野地耕一郎 5月28日（22名）、6月26日（20名）

実方葉子 7月16日（31名）

・ゲストギャラリートーク 7月3日（56名）

小川知子氏（大阪新美術館建設準備室研究副主幹）

・講演会 6月18日（42名）

「大阪の画家たち — 近世から近代へ」

中谷伸生氏（関西大学教授）

今日あまり知られていない大阪画壇の特徴と重要性について、前近代からの流れを踏まえて解説いただいた。



講演会

はなやか秋のしつらえ — 明治・大正の絵画と工芸

会期：9月3日－10月23日

新たに寄贈された作品展第二弾として近代美術を中心に展示。日本の伝統に新たな西洋の技術思潮を取り入れた明治以降の洋画や陶芸作品とともに洋食器類も展示。近代美術に飾られた生活空間の再現を目指した。



展示風景（入口付近から）



関連催事

・ギャラリートーク：

外山 潔 9月10日（15名）、10月1日（12名）、10月15日（36名）

・四季の美コンサート Vol. 3 秋の章

9月17日（26名）

中孝介氏（うた）＆黒澤有美氏（箏）
ソニーミュージックレーベルズ主催のコンサート。

終演後は参加者限定の夜間観覧実施、本館初の試み。



四季の美コンサート



ティータイム講義

・ワークショップ 10月22日（30名）

「秋のティータイム

ー 紅茶にまつわるものがたり」

講師：福田万弓氏

（京都らしい紅茶教室ティージョルノ）

春翠が好んだセイロンティーの歴史を講義いただき、参加者全員で美味しい淹れかたを実践した。新取品ティーセットを一部紹介した。

高麗仏画 — 香りたつ装飾美

会期：11月3日－12月4日

朝鮮・高麗王朝の篤い信仰心が生み出した高麗仏画。当館所蔵「重文 水月観音像」の修復（国庫補助、京都府補助、住友財団助成）を記念し、国内では38年ぶりとなる特化した展覧会を開催。海外からも多くの来館者を迎えた。
（芸術文化振興基金助成、花王芸術・科学財団助成）



展示風景



展示風景



高精細画像閲覧コーナー

展覧会開催に併せて、図録『高麗仏画 — 香りたつ装飾美』（当館分 2,600 部）を根津美術館と共同出版した。



図録『高麗仏画 — 香りたつ装飾美』

関連催事

・ギャラリートーク：実方葉子 11月5日（33名）、12月3日（116名）

・大和文華館「朝鮮の絵画と工芸」展連携講座：11月12日（18名）

植松瑞希氏（東京国立博物館研究員）

・講演会 11月20日(149名)

「静肅の美 — 高麗仏画の図像と歴史」

鄭干澤氏(韓国東国大学校教授)

伝存作例の少ない高麗仏画の図像、技法、様式的特徴と宗教的背景を多数の貴重なスライドをまじえ解説いただいた。



講演会

・シンポジウム 11月26日(112名)

「ヴェールを脱ぐ観音 — 高麗仏画 水月観音像の修理と調査」

朝賀浩氏(文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官)

岡岩太郎氏(株式会社岡墨光堂
代表取締役)

金珉氏(韓国国民大学文化財保存学科
兼任教授)

廣川守(泉屋博古館副館長)

井手重里氏(京都大学教授)

館蔵重文水月観音像の修理とそれを契機とした調査につき、関係した専門家から報告、意義を語りあっていただいた。



シンポジウム

・研究者向けワークショップ 11月26日(27名)

・一般向けワークショップ 11月27日(17名)

「絵の具の秘密 — 高麗仏画の彩色技法 —」

講師：金珉氏(韓国国民大学文化財保存学科兼任教授・模写作家)

高麗仏画の絵具、技法などを多数のスライドや絵具の実物を用いて解説いただき、参加者自身が筆を持って典型的モチーフの彩色を体験した。



ワークショップ講義

平成 28 年度公開事業 分館（東京）

バロン住友春翠 — 邸宅美術館の夢

会期：2月27日－5月8日

住友グループの近代化に大きな役割を果たし、当館コレクションの基礎を築いた、住友家 15 代当主春翠の生誕 150 年記念展。第 1 部（明治編）は、洋画や中国美術の展示と共に、コレクションの舞台となった洋館（神戸須磨邸）にも焦点を当てた。



第 1 展示室



第 2 展示室

展覧会開催に併せて、改訂図録『住友春翠 美の夢は終わらない』（1,000 部）を出版した。



図録『住友春翠 美の夢は終わらない』

関連催事

・ギャラリートーク：

野地耕一郎 2月27日（7名）、3月5日（10名）、3月19日（10名）、
4月2日（15名）、4月9日（10名）、4月30日（32名）

廣川守 3月12日（25名）

外山潔 4月16日（30名）

実方葉子 4月23日（50名）



ギャラリートーク

・講演会（泉ガーデンギャラリー） 4月15日（230名）

「明治の邸宅建築 — その使われ方と特徴」

藤森照信氏（建築史家・建築家・東京
大学名誉教授）

「住友須磨別邸」と設計を手がけた野口
孫市について、近代の洋館建築史の流
れや住友の建築家たちに関することな
ども交えて解説いただいた。



講演会

・ロビーコンサート「春の宴」 3月26日（80名）

演奏：茂木新緑氏（チェロ奏者）

冬の旅、バッハ無伴奏チェロ組曲他



ロビーコンサート



数寄者住友春翠 — 和の美を愉しむ

会期：6月4日－8月5日

住友グループの近代化に大きな役割を果たし、当館コレクションの基礎を築いた、住友家 15 代当主春翠の生誕 150 年記念展。第 2 部（大正編）では、大阪に築いた広大な和風建築（茶白山邸）において、次第に日本の伝統美に惹かれていく春翠を、彼の愛した茶道具、日本画と共に紹介した。



第 1 展示室



第 1 展示室



第 2 展示室

関連催事

・ギャラリートーク：

森下愛子 6月4日（30名）、6月11日（15名）、7月2日（15名）、

実方葉子 6月25日（50名）

外山潔 7月23日（60名）



ギャラリートーク

・スペシャルギャラリートーク： 7月9日（50名）

「住友春翠と近代日本」 末岡照啓氏（住友史料館副館長）



スペシャルギャラリートーク

・麻布地区事業「麻布フェスタ」見学会受入（7月2日 23名）



明治有田超絶の美 — 万国博覧会の時代

会期：9月24日－12月4日

江戸時代初期、佐賀県・有田の地において日本初の磁器が作られてから400年。明治時代に巨大な花瓶や再現不可能と言われる細密描写を施した有田磁器は、世界各国で開催された博覧会を中心に絶大な人気を誇った。作品と共にデザイン画を初公開し、世界を魅了した日本が誇る明治有田磁器の超絶技巧の美を紹介した。

(港区文化プログラム連携事業助成、芸術文化振興基金助成)



第1展示室



第1展示室



第2展示室

展覧会開催に併せて、図録『明治有田 超絶の美 万国博覧会の時代』（当館分 660 部）および同論考集（当館分 300 部）を巡回連携8館と共同出版した。



『明治有田 超絶の美 万国博覧会の時代』（世界文化社 2015 年刊行）

関連催事

・ギャラリートーク：

森下愛子 9月30日（20名）、10月14日（15名）、11月4日（26名）

・スペシャルギャラリートーク： 9月24日（45名）

「明治の大作と細密描写」 鈴田由紀夫氏（九州陶磁器文化館長）

・ゲストトーク：

10月22日（35名）、11月19日（38名）

「香蘭社に秘蔵された図案」

森谷美保氏（美術史家・本展コーディネーター）

11月12日（54名）

「宮中晩餐会の食器と精磁会社」

長佐古美奈子氏（学習院大学史料館学芸員）



ゲストトーク

・研究会 10月17日（72名） 18日（43名）

「現在に伝わる明治の超絶技巧」

鈴田由紀夫氏（佐賀県立九州陶磁文化館館長）

原田一敏氏（東京藝術大学大学美術館教授）

山崎剛氏（金沢美術工芸大学教授）

長崎巖氏（共立女子大学教授）

荒川正明氏（学習院大学教授）

東京文化財研究所との共同開催。

1日目は東京文化財研究所で「現在に伝わる明治の超絶技巧」と題し、明治工芸に関する研究会。

2日目は東京藝術大学大学美術館ならびに泉屋博古館分館見学会。



研究会



見学会

・アークヒルズ音楽週間ロビーコンサート

企画協力：大倉集古館

10月2日（71名）

「津軽三味線・超絶技巧」

演奏：藤井黎元氏（津軽三味線奏者）

津軽じょんがら節、有田皿山節、チロリン節他



ロビーコンサート

平成 28 年度の主な調査研究事業

1. 泉屋博古館紀要の発行

泉屋博古館紀要第 32 巻を 12 月に刊行した。

本号は故樋口隆康名誉館長の追悼号として、巻頭に小南一郎館長、岡村秀典氏（京都大学人文科学研究所教授）、菅谷文則氏（奈良県立橿原考古学研究所所長）、宮治昭氏（龍谷大学特任教授、名古屋大学名誉教授）の追悼文、樋口名誉館長の年譜及び主要著書目録を掲載した。また論考では、小南一郎論文、外山潔論文、および住友芳夫、末岡照啓（住友史料館）、高橋純一（住友金属鉱山株式会社）、村山順一郎、廣川守 5 名による共著論文 2 編の合計 4 編を掲載した（詳細は以下の通り）。

2. 館藏品研究

・「編鐘復元研究」（廣川）

館蔵編鐘の考古学的、科学的分析を行い、編鐘復元を試みる。成分分析、組織観察、3D 計測、紋様施紋技法研究、原型制作、熱処理実験、復元実験のプロセスを経る（平成 28 年度から 5 年間）。平成 28 年度は型取による中子構造の検証と金属熔解の検証を実施した。

主な成果

1. 編鐘内面の型取りを実施し、型持の構造を解明（平成 29 年 8 月のアジア鑄造技術史学会にて発表予定）。
2. 関連研究として金属溶解実験を富山大学、台湾中央研究院と共同で実施し、アジア鑄造技術史学会 2016 岡山大会にて「錫石を用いた青銅鑄造実験と金有六齊の新解釈」を共同発表。



型取の様子



中子の型

・「商周青銅器製作技法研究」(廣川)

青銅器の詳細な実物観察と、既取得CTデータとの照合により、青銅器製作技法を検討する。
平成28年度から2年間。

主な成果

1. 第8回世界考古学会議 WAC-8 Kyoto にて、「Xray CT scanning for Ancient Chinese Bronze Objects: Insight of structures and casting technology」を口頭発表。

・「日本所蔵ガンダーラ石彫の悉皆調査」(外山)

主な成果

1. 泉屋博古館紀要第32巻に「泉屋博古館の樋口コレクションーガンダーラ美術を中心にー」を掲載。



泉屋博古館紀要第32巻
62・63頁

・「近代染織史の基礎資料研究」(森下)

館蔵染織作品を基礎資料として、近代染織作品における様式変遷ならびに技法を比較する。
東京文化財研究所無形文化遺産部と協定を結び共同研究を行う。
平成27年度から3年間。

主な成果

1. 東京文化財研究所と研究会「現在に伝わる明治の超絶技巧」を共同開催し、成果報告を東京文化財研究所無形文化遺産部紀要にて報告(東京文化財研究所無形文化遺産部研究員・菊池理予氏との共同報告)。



研究会チラシ

3. 住友関連研究

・「江戸期住友銅製錬関連製品研究」(村山・廣川)

継続実施している別子銅山関連遺物の科学的分析研究。

主な成果

1. Copper2016（神戸）にて「Sumitomo Copper Smelting and Refining Technologies in The Pre-modern Period」を口頭共同発表。
2. 泉屋博古館紀要第 32 巻に「江戸期住友の銅製錬製品の調査」「明治中期における別子鉱山の製錬法と製出品の分析」を掲載。



「江戸期住友の銅製錬製品の調査」論文

「明治中期における別子鉱山の製錬法と製出品の分析」論文

・「住友家邸宅及び美術品収集経緯研究」(実方)

従来のコレクション形成研究に併せ、それを飾った邸宅調査を行い、住友コレクションの特徴を多角的に検討する。対象は、須磨邸、茶白山邸、麻布邸。平成 27 年度から 4 年間。

主な成果

1. 住友春翠図録改定版にて須磨邸、茶白山邸に関する報告を再掲載。



図須磨邸部分

茶白山本邸部分

4. その他研究

・「中国初期王朝時期の政治と文化」（小南）

文物資料を中心にした、中国文化の形成をめぐる研究。

主な成果

1. 泉屋博古館紀要第 32 巻に「中国初期王朝の始祖神話」を掲載。



泉屋博古館紀要第 32 巻 38・39 頁

・「中国民間宗教文芸の研究」（小南）

民間文芸の実地調査にもとづく考察。中国文化の基礎の探求。

平成 26 年度から 3 年間。

主な成果

1. 國學院雑誌 117 巻 11 号に「中国近世の宗教文芸」を掲載。
2. 説話伝承学 23 に「竈神をめぐる習俗と信仰」を掲載

・「金銅仏の蛍光 X 線及び 3 D スキャン調査」（外山）

中国、朝鮮、日本の金銅仏の成分差を蛍光 X 線分析で調査。

主に北魏太和年間の金銅仏の鑄造技法を 3 D スキャンで分析、その特質を研究。

飛鳥寺本尊の蛍光 X 線分析共同調査に参加。根津美術館所蔵金銅仏を 3 D 計測（共同調査）。

主な成果

1. アジア鑄造技術史学会 2016 岡山大会にて「泉屋博古館北魏金銅仏の 3D 報告」を共同発表。



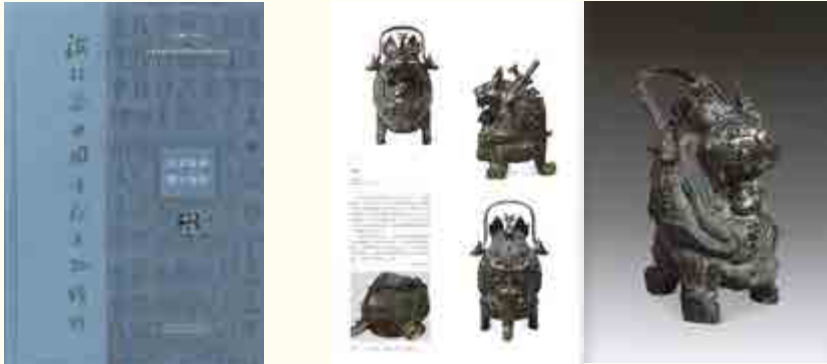
金銅仏調査風景（飛鳥寺）



金銅仏 3 D 計測風景（根津美術館）

5. 連携調査研究

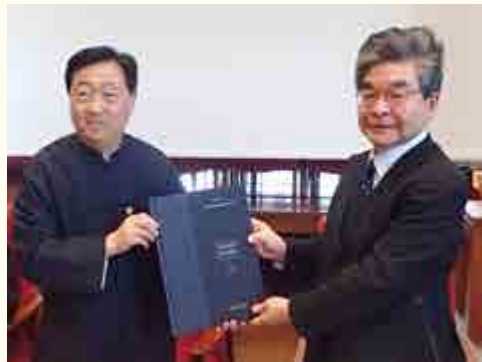
- ・ 中国国家博物館との中国国家博物館国際交流系列叢書共同刊行事業（小南・廣川）
中国国家博物館編『海外蔵中国古代文物精粹 日本泉屋博古館巻』について、執筆及び共同編集作業を行った（4月刊行）。



『海外蔵中国古代文物精粹 日本泉屋博古館巻』（中国国家博物館）



出版発表会（北京）



呂章申中国国家博物館館長との記念撮影（右側 小南館長）

- ・ 中国河南偃師杏園墓地出土金属器の蛍光X線分析調査（廣川）
岡村秀典京都大学人文科学研究所教授を研究代表者とする隋唐時代金属器調査に参加し蛍光X線分析を実施した。
- ・ 中国内蒙古金属器の蛍光X線分析調査（廣川）
小田木治太郎天理大学文学部准教授を研究代表者とする内蒙古中南部金属器調査に参加し、蛍光X線分析を実施した。
- ・ 泉屋博古館蔵金属製品の高精度三次元デジタル計測調査（廣川・外山）
三船温尚富山大学芸術学部教授を研究代表者とする高精度三次元デジタル計測調査に参加し、泉屋博古館蔵青銅祭器および金銅仏の計測を実施した。

美術品の受贈・購入・修復

1. 美術品の受贈

新しく美術品 384 件の寄贈を受けた。これにより、特に工芸品コレクションの充実が図られ、本館では受贈にちなむ展覧会を 2 回開催した。これ以外にも、住友コレクション形成研究の基礎資料となる研究用資料類 3,231 件の寄贈を受けた。



七宝龍鳳魚文香炉 明治時代



幸野煤嶺 蔬果図額

2. 美術品の購入

当館コレクション充実のため、木島櫻谷筆 幽溪秋色を購入した。

3. 修復事業

中丸精十郎作肖像画 3 点のクリーニング、ジョルジュ・ルオー作「一家の母」クリーニングおよび半磁器桜花模様花瓶（伝佐々木庄次郎）表面剥離補修、クリーニングを実施した。



木島櫻谷 幽溪秋色



半磁器桜花模様花瓶
(左:修復前 右:修復後)

平成 28 年度職員の外部機関協力

1. 職員による外部講演

- ・野地耕一郎 「宮忠子の絵 — これは水墨画なのだろうか？」
1 月 30 日 岡山県立美術館美術講演会
- ・実方葉子 「邸宅美術館の夢 須磨・住友家別邸について」
2 月 7 日 神戸市立博物館特別展「須磨の歴史と文化展 — 受け継がれる記憶 —」
記念講演会
- ・野地耕一郎 対談「福井県立美術館コレクションについて — 岩佐又兵衛、狩野芳崖
横山大観、菱田春草を中心に —」
2 月 13 日 そごう美術館「日本画の革新者たち展」
- ・森下愛子 「住友春翠と板谷波山」
3 月 3 日 下館・時の会主催「波山の夕べ」
- ・小南一郎 「楚辞の時間観念」
6 月 13 日 中国復旦大学古籍整理研究所第 11 回高端講座講演
- ・実方葉子 「香りたつ装飾美 — 隣国・高麗時代の仏教絵画」
10 月 3 日 佛教大学四条センター講座
- ・実方葉子 「天皇と将軍の華麗なるパレード — 江戸初期の行幸図屏風の世界 —」
10 月 8 日 鎌田共済会郷土博物館第 7 回公開講座
- ・外山潔 「住友家の須磨邸を飾った美術品」
10 月 17 日 (公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構ひょうご講座
- ・実方葉子 「水月観音解体新書 — 最新技術で読み解く高麗仏画の美の秘密」
11 月 7 日 佛教大学四条センター講座
- ・実方葉子 「香りたつ装飾美 — 高精細画像で味わう高麗仏画」
11 月 19 日 大和文華館出張講義
- ・実方葉子 「高麗仏画の世界」
11 月 29 日 シニア CITY カレッジ
- ・廣川守 「中国古代の青銅器」
11 月 29 日 シニア CITY カレッジ
- ・野地耕一郎 「青春の朝倉拱 — 昭和前期日本画界での活動と位置」
12 月 8 日 台東区立朝倉彫塑館講演会

2. 外部機関への協力

- ・大学博物館過程実習の受け入れ

本館（京都）にて、7月27日－7月31日、関西の6大学11名に対する博物館実習を受け入れた。

- ・大学への出講

野地耕一郎 「日本美術史特殊研究」 成城大学 平成28年1月－平成28年12月

- ・私立美術館会議の開催協力

10月7日、私立美術館会議総会を本館にて開催。

総会終了後、廣川守による収藏品（中国青銅器）に関する基調講演と青銅器展示及び企画展示の見学会を実施した。

3. 広報活動

- ・SNSを活用した広報活動

フェイスブック投稿（展覧会紹介等）の実施 本館52回 分館95回
分館にてブロガー内覧会を開催（ウインダム主催）

「住友春翠」展 2月25日（参加54名）

「明治有田」展 9月23日（参加54名）

- ・新聞、テレビ等を通じた広報活動（抜粋）

3月13日 NHK日曜美術館 アートシーン「住友春翠」展（野地）

3月30日 朝日新聞夕刊「美の履歴書」白玉香炉（森下）

4月16日 KBS京都「京都・国宝浪漫」線刻仏諸尊鏡像（外山・実方）

4月23・24日 TOKYO MXTV「東京クラッソ!」「住友春翠」展（森下）

10月7日 毎日新聞夕刊「出かけてみませんか」「明治有田」展（森下）

10月20日 都内4美術館2017合同記者発表会（廣川・野地）

10月21－31日 J:COM港新宿「港区広報トピックス」「明治有田」展（森下）

11月6日 毎日新聞日曜版「書之美」貫名崧翁大字「竹声松影」

11月20日 NHK日曜美術館 アートシーン「高麗仏画」展

11月25日 BS-TBS「高島礼子・日本の古都－その絶景に歴史あり－」

二条城行幸図屏風

施 設 工 事

- ・本館天井耐震化工事竣工

地震発生時の来館者の安全確保を更に強化するため、吊り天井の落下防止工事（天井吊り下げ金具の増強および天井板取り替え工事）を、平成 27 年 12 月 1 日に着工、平成 28 年 3 月末日竣工した。

- ・分館屋根屋上シーリング更新工事

防水材経年劣化対策として、分館の展示室、居室、機械設置場所の屋根の防水材更新工事を行った。平成 28 年 12 月 9 日着工、24 日完了。

博物館評価委員会の開催

当館では展示、研究、保存などの事業について、その実績・内容、今後の計画などに対し客観的評価を得て、活動水準の高度化を図るため、外部有識者を中心とした評価委員会を定期的に開催している。平成 28 年度は以下の 2 回の委員会を開催した。

3 月 11 日 住友会館（東京）、評価委員 5 名、学芸員 4 名が出席。

「小川千襲展」「きものモダニズム展」を評価。

12 月 2 日 本館講堂（京都）、評価委員 3 名、学芸員 4 名が出席。

リニューアル後の「青銅器展」を評価。

泉屋博古館設立の目的

当館は、住友家の収集にかかる古代青銅器を中心とする国宝、重要文化財等の美術工芸品および当館が取得した文化財の保存および公開、並びにこれらに関する調査研究を行い、学術研究の発展を図り、もって我が国の文化の向上と文化財の保護に寄与することを目的としております。

泉屋博古館の事業

当館は、上記目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 美術工芸品の収集、保存および公開
- (2) 美術工芸品に関する調査研究、紀要、解説書、図録などの発行
- (3) 美術工芸品に関する研究会、講演会等の開催
- (4) 美術館の設置、運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

賛 助 会 社 平成 28 年 12 月 31 日現在

住友化学株式会社	住友重機械工業株式会社
株式会社三井住友銀行	新日鐵住金株式会社
住友金属鉱山株式会社	住友商事株式会社
三井住友信託銀行株式会社	住友生命保険相互会社
株式会社住友倉庫	住友電気工業株式会社
三井住友海上火災保険株式会社	日本板硝子株式会社
日本電気株式会社	住友不動産株式会社
住友大阪セメント株式会社	三井住友建設株式会社
住友ベークライト株式会社	住友林業株式会社
住友ゴム工業株式会社	大日本住友製薬株式会社

役員・評議員 平成 28 年 12 月 31 日現在

理 事 長	宮 原 賢 次	住友商事名誉顧問
常務理事	屋 代 榮	住友成泉社長
理 事	岡 村 秀 典	京都大学教授
	奥 正 之	三井住友フィナンシャルグループ会長
	熊 倉 功 夫	MIHO MUSEUM 館長
	小 南 一 郎	泉屋博古館長、京都大学名誉教授
	酒 井 忠 康	世田谷美術館長
	佐々木 丞平	京都国立博物館長
	佐 藤 義 雄	住友生命保険会長
	住友 吉左衛門	住友財団理事長
	高 橋 温	三井住友信託銀行特別顧問
	友 野 宏	新日鐵住金相談役
	西 上 実	京都国立博物館名誉館員
	矢 野 薫	日本電気特別顧問
監 事	磯野 與志嗣	税理士
	小野寺 研一	住友不動産副会長
	家 守 伸 正	住友金属鉱山会長
評 議 員	安 部 正 一	住友倉庫会長
	秦 喜 秋	三井住友海上火災保険シニアアドバイザー
	住 友 信 夫	
	関 根 福 一	住友大阪セメント社長
	田 邊 三郎助	町田市立博物館長
	十 倉 雅 和	住友化学社長
	中 村 吉 伸	住友重機械工業会長
	則 久 芳 行	三井住友建設会長
	林 茂	住友ベークライト社長
	藤 本 勝 司	日本板硝子名誉顧問
	松 本 正 義	住友電気工業社長
	馬 渕 明 子	国立西洋美術館長
	矢 野 龍	住友林業会長

法人概要

貸借対照表

平成 28 年 12 月 31 日現在

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	74,021,849	61,960,098	12,061,751
仮払金	150,000	150,000	0
前払金	34,479	26,130	8,349
前払費用	847,733	760,045	87,688
立替金	2,265,576	19,319	2,246,257
未収金	452,381	406,576	45,805
流動資産合計	77,772,018	63,322,168	14,449,850
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
美術品	6,410,302,120	6,130,127,120	280,175,000
土地	2,882,732,000	2,882,732,000	0
建物	780,650,518	756,271,578	24,378,940
構築物等	3,158,085	3,606,440	-448,355
投資有価証券	3,476,890,587	3,576,734,371	-99,843,784
定期預金	100,000,000	0	100,000,000
基本財産合計	13,653,733,310	13,349,471,509	304,261,801
(2) 特定資産			
営繕積立資産	7,513,199	7,513,199	0
基本財産購入積立資産	14,773,807	15,367,807	-594,000
保存公開事業積立資産	3,002,700	3,002,700	0
調査研究事業積立資産	20,431,000	20,431,000	0
本館改良工事資金	0	70,000,000	-70,000,000
特定資産合計	45,720,706	116,314,706	-70,594,000
(3) その他固定資産			
建物	7,474,300	9,464,409	-1,990,109
その他	34,686,180	35,614,186	-928,006
投資有価証券	1,136,060	1,131,546	4,514
長期前払費用	1,466,737	198,720	1,268,017
その他固定資産合計	44,763,277	46,408,861	-1,645,584
固定資産合計	13,744,217,293	13,512,195,076	232,022,217
資産合計	13,821,989,311	13,575,517,244	246,472,067
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,686,735	6,000,088	4,686,647
預り金	840,590	1,490,559	-649,969
流動負債合計	11,527,325	7,490,647	4,036,678
負債合計	11,527,325	7,490,647	4,036,678
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産 美術品	6,409,708,120	6,130,127,120	279,581,000
基本財産 土地	2,882,732,000	2,882,732,000	0
基本財産 建物	707,633,314	756,271,578	-48,638,264
基本財産 構築物等	3,158,085	3,606,440	-448,355
寄付金	5,958,334	0	5,958,334
指定正味財産合計	10,009,189,853	9,772,737,138	236,452,715
(うち基本財産への充当額)	(10,003,231,519)	(9,772,737,138)	(230,494,381)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	3,801,272,133	3,795,289,459	5,982,674
(うち基本財産への充当額)	(3,650,501,791)	(3,576,734,371)	(73,767,420)
(うち特定資産への充当額)	(45,720,706)	(116,314,706)	(-70,594,000)
正味財産合計	13,810,461,986	13,568,026,597	242,435,389
負債及び正味財産合計	13,821,989,311	13,575,517,244	246,472,067

法人概要

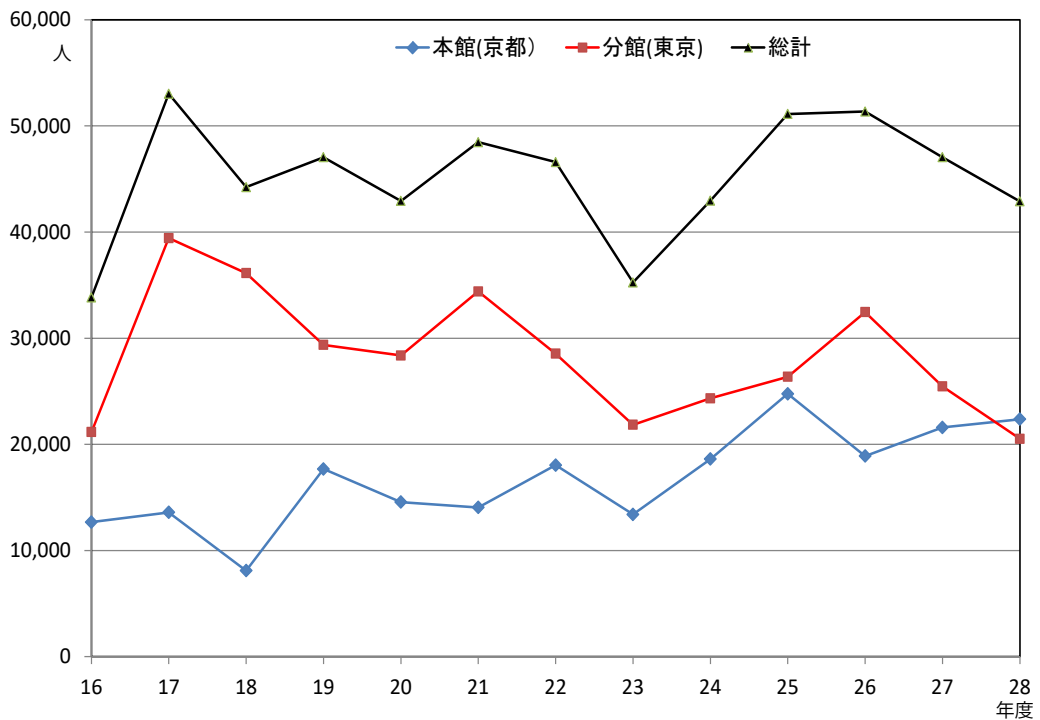
正味財産増減計算書

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	69,462,307	70,454,923	-992,616
特定資産運用益	21,928	19,114	2,814
入場料	15,804,102	20,610,296	-4,806,194
事業収益	11,992,794	10,243,883	1,748,911
受取補助金等	1,821,000	1,500,000	321,000
補助金等	0	0	0
指定正味財産からの振替額	120,000,000	123,300,000	-3,300,000
受取寄付金	49,628,285	47,235,092	2,393,193
寄付金	1,186,969	1,849,474	-662,505
指定正味財産からの振替額			
雑収益			
経常収益計	269,917,385	275,212,782	-5,295,397
(2) 経常費用			
事業費			
展覧会費	36,251,451	32,086,144	4,165,307
美術品修繕費	1,459,040	0	1,459,040
調査研究費	3,986,139	4,926,546	-940,407
仕入費	0	569,530	-569,530
広告宣伝費	4,659,608	3,465,090	1,194,518
給与費	66,446,152	65,480,637	965,515
雑給	3,671,593	3,592,036	79,557
旅費交通費	6,043,548	4,210,420	1,833,128
通信運搬費	1,037,764	1,011,516	26,248
光熱水道費	6,982,264	7,339,044	-356,780
消耗品費	2,616,685	3,581,463	-964,778
保守費	17,699,124	15,439,350	2,259,774
雑費	1,681,638	794,445	887,193
基本財産減価償却費	47,269,469	45,642,776	1,626,693
その他固定資産減価償却費	12,240,837	11,421,310	819,527
事業費計	212,045,312	199,560,307	12,485,005
管理費			
給与費	33,577,441	33,101,974	475,467
旅費交通費	1,575,404	1,785,898	-210,494
通信運搬費	1,277,886	1,038,025	239,861
光熱水道費	3,504,314	3,677,698	-173,384
消耗品費	1,255,624	1,187,169	68,455
保守費	8,287,083	7,364,074	923,009
雑費	4,204,935	3,811,560	393,375
基本財産減価償却費	1,580,154	1,592,316	-12,162
その他固定資産減価償却費	280,981	175,201	105,780
管理費計	55,543,822	53,733,915	1,809,907
経常費用計	267,589,134	253,294,222	14,294,912
評価損益等調整前当期経常増減額	2,328,251	21,918,560	-19,590,309
基本財産評価損益等	5,859,484	-986,332	6,845,816
投資有価証券評価損益等	4,514	3,333	1,181
評価損益等計	5,863,998	-982,999	6,846,997
当期経常増減額	8,192,249	20,935,561	-12,743,312
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他固定資産受贈益	164,791	219,020	-54,229
経常外収益計	164,791	219,020	-54,229
(2) 経常外費用			
基本財産除却損	2,374,362	0	2,374,362
その他固定資産除却損	4	65,456	-65,452
経常外費用計	2,374,366	65,456	2,308,910
当期経常外増減額	-2,209,575	153,564	-2,363,139
当期一般正味財産増減額	5,982,674	21,089,125	-15,106,451
一般正味財産期首残高	3,795,289,459	3,774,200,334	21,089,125
一般正味財産期末残高	3,801,272,133	3,795,289,459	5,982,674
II 指定正味財産増減の部			
固定資産受贈益	279,581,000	0	279,581,000
受取寄付金	6,500,000	0	6,500,000
一般正味財産への振替額	-49,628,285	-47,235,092	-2,393,193
当期指定正味財産増減額	236,452,715	-47,235,092	283,687,807
指定正味財産期首残高	9,772,737,138	9,819,972,230	-47,235,092
指定正味財産期末残高	10,009,189,853	9,772,737,138	236,452,715
III 正味財産期末残高	13,810,461,986	13,568,026,597	242,435,389

入館者の推移



平成 29 年展覧会予定

本館（京都）

楽しい隠遁 山水に遊ぶ ― 雪舟、竹田、そして鉄斎	3月 4日 ― 5月 7日
特別展 浅井忠の京都遺産 ― 京都工芸繊維大学美術工芸コレクション	5月 20日 ― 7月 9日
うるしの彩り ― 漆黒と金銀が織りなす世界	9月 2日 ― 10月 15日
特別展 木島櫻谷 ― 近代動物画の冒険	10月 28日 ― 12月 3日

分館（東京）

屏風にあそぶ春のしつらえ ― 茶道具とおもてなしのうつわ	2月 25日 ― 5月 7日
特別展 名刀礼賛 ― もののふ達の美学	6月 1日 ― 8月 4日
特別展 浅井忠の京都遺産 ― 京都工芸繊維大学美術工芸コレクション	9月 9日 ― 10月 13日
特別展 典雅と奇想 ― 明末清初の中国名画展	11月 3日 ― 12月 10日